



2024年度 短期海外語学研修 レポート

1. 中国語（北京）

十文字学園女子大学
国際交流センター

2024年度 短期海外中国語研修（北京）概要

夏休みの期間中に、十文字学園女子大学の友好校・北京語言大学において実施する短期中国語研修に参加し、効率的なプログラムと様々なアクティビティを通じて、生きた中国語と文化に触れます。

国名 項目	中 国 （ 北 京 ）
期 間	2024年8月3日（土）～2024年8月31日（土） 計28日間
	北京語言大学敷地内の寮
研 修 先	北京語言大学 中国 北京市 海淀区
引 率	教育人文学部 文芸文化学科 教授 松永 修一
研 修 内 容	<ul style="list-style-type: none">・北京語言大学が開講している夏期講習に参加・中国語レッスンは月～金、午前4コマ (基本は中国語での授業。入門～初級のみ簡単な英語を使う場合もあります。)・クラスは、プレイスメントテスト後、レベル別に分かれます(入門から上級)・1クラスは16～20名程度・研修期間中、北京語言大学が企画するアクティビティや旅行があります(参加自由)

・研修校について

北京語言大学 Beijing Language Culture University (BLCU)

北京語言大学は中国教育部直属の大学で、1962年に創立。1964年6月に北京語言学院と名付けられ、1996年に北京語言文化大学に改称、2002年に北京語言大学に簡略化されました。中国で唯一の中国語の国際教育と留学生向けの中国語・中華文化教育に取り組んでいる国際型の大学であり、以前より小さい「国連」と呼ばれています。また、言語教育と研究を中心とした多科大学であり、49年の発展を経て中国における中外言語、文化研究の重要な学術基地と涉外高級人材を育成する揺りかごになっています。

・オリエンテーションの実施について

事前オリエンテーションと事後オリエンテーションへの出席が研修参加の条件となります。

・成績評価について

以下を総合的に判断します。

◎現地での授業評価、生活態度など

◎事前・事後オリエンテーションの出席率

◎帰国報告書（研修終了後に提出するレポート、報告会資料など）

「你好」と「謝謝」しか話せない私が北京に留学した件

教育人文学部 心理学科 2年
N・F

私は、自分に自信がなくやりたいことがあってもなかなか挑戦出来ず、そんな自分が嫌いでした。そのため、今年は興味をもったことに思い切って一步踏み出す一年にしたいと考え、留学を決意しました。中国を選んだのは、私が中国語を履修していたのにも関わらず、実際に話すことが出来なかったからです。全く言語が通じない、厳しい環境に身を置かなければ、「自分が変わる」なんて思えませんでした。実際に、留学してから最初の1週間は、先生の話している意味も分からず、またクラスメイトとの差を感じてしまい、不安でいっぱいでした。そのような中、部屋の電気が壊れてしまい、スマホの充電や冷蔵庫が使えなくなってしまいました。本来なら、ここで勇気の出ない私でしたが、フロントの方にこの状況を説明し、直してほしいと拙い中国語で伝えることができたのです。伝わるかどうか不安はありましたが、特に躊躇いはありませんでした。そんなことよりも、自分の伝えたいことが伝わったことにとっても感動しました。突然起こったハプニングでしたが、このことがきっかけで、自信が持てるようになりました。「もっと通じ合ってみよう」という思いから、少しずつエレベーターで一緒になった人に声を掛けてみたり、仲良くなった子をご飯に誘ってみたりしました。色々な国籍の方と話していくなかで、「人とつながる」ことの素晴らしさを改めて感じることができました。

何気ない小さな成功体験によって、自分の成長を感じ少しずつ自信が持てるようになり、挑戦する機会を増やしていくことができました。そして、日本にいるときには気づかなかった感動も見つけることができました。

私が、様々なことにチャレンジしてみたいと思えたもう一つの理由として、「自分は無力だ」と自覚できたからだと思います。初めはタクシーに乗ることも、ご飯を注文することも出来ず、落ち込みました。ただ、こんな無力な自分が帰国までにどのくらい成長できるのか知りたい、試したいと思い、挑戦することへの原力となりました。

これからは、「本当は、やりたかったのに出来なかった」という後悔が一つもないように、失敗を恐れず、挑戦を続けたいです。

《メッセージ》

留学には、言語の壁やお金のこと、学校の授業などによって、高いハードルがあると思います。ただ、時間に余裕があるのも学業に専念していいのも、大学生までであると思います。そんな絶好の期間の中で、少しでも「行ってみたい」「興味がある」と思っていたら、ぜひ、挑戦してみてほしいです。最初は、怖くて不安な気持ちになってしまうかもしれませんが、最終的に「行ってよかった」と思えるはずですよ。応援しています。

北语での成長

教育人文学部 文芸文化学科 2年

A・N

私が北京に留学を決めた理由は、2年生となり大学生活にも慣れてきたので夢であった留学にチャレンジしようと考えたからです。様々なプランがあり迷う中で、大学では1年間中国語を学んでいましたが、それに並行して英語と韓国語も勉強しているので、そんな自分にとって北京語言大学への留学は大きな学びに繋がると感じたので留学を決めました。今回私は初めての海外でしたが数回に及ぶオリエンテーションのおかげであまり不安は無く、元気に帰る事が出来れば良いなと思っていました。

私にとっての学びや成果や感想について述べます。一つ目の学びとしては、日本の大学の授業では先生は日本語で教えて下さっていたので基本的な文や単語を学んでいたのに対して中国での授業は九割を中国語で行い一割のみ英語だったので授業内の先生からの質問や答えに至った理由や、間違えている箇所を全て中国語で聞かれていたので実用的な中国語やよく使われている口語といった幅広い学びを得ました。加えて、私は学ぶ上で思いがけずに中国語非母語話者でありながら中国語学習者という立場にいました。私の夢である日本語教師になった際には学習者の立場になり考えるべき事が沢山あると考えているので、先生の教え方や、クラスメイトの顔色をよく見ていました。物を使っての授業や黒板に書きに行くといった五感を使った授業を体験しました。将来に直結するとても良い成果を得ました。

最後に感想です。私は初めての海外が中国で良かったと心から思っています。毎日沢山の学びを得て授業や生活で壁に当たることもありましたが沢山の経験をしました。



